

19 外郭団体

1 概要（令和7年7月1日現在）

（1）市から基本財産又は資本金相当額の25%以上を出資している法人（市が設立した地方独立行政法人を除く）

団体名	代 表 者 名	基本財産 ・出資合計	市の出資 ・出捐	市からの 財政支出	主 な 事 業
		金額(千円)	上段:金額(千円)	上段:金額(千円)	
			下段:割合	下段:割合	
(一財)岡山市勤労者サポートプラザ	理事長	100,000	100,000	5,000	中小企業勤労者のための福利厚生事業
	林 恭生		100.0%	4.2%	
(公財)岡山市公園協会	理事長	114,000	57,000	493,939	緑化普及促進事業, 緑化基金管理, 都市公園指定管理業務等
	林 恭生		50.0%	74.7%	
(公財)岡山市シルバー人材センター	理事長	51,000	50,000	294,194	シルバー事業, 会員への各種研修・就業相談
	信木 修		98.0%	38.9%	
(公財)岡山文化芸術創造	理事長	525,706	454,459	883,062	岡山シンフォニーホール・岡山芸術創造劇場の管理運営, プロオーケストラ, ジュニアオーケストラ, アーツフェスティバル運営等
	越宗 孝昌		86.4%	79.7%	
(一財)岡山市水産協会	代表理事	250,000	230,000	0	栽培漁業の推進, 漁場の環境保全, 地場産水産物の普及啓発活動
	豊田 安彦		92.0%	0%	
(公財)岡山市ふれあい公社	理事長	100,000	100,000	4,987,750	福祉・健康・生涯学習に関する事業, ふれあいセンター・ウェルポートなださきの管理運営
	那須 正己		100.0%	80.4%	
(公財)岡山県下水道公社	理事長	30,000	9,853	0	児島湖流域下水道の維持管理業務の受託に関する事
	川上 次郎		32.8%	0%	
(一財)吉井川水源地域対策基金	理事長	105,673	34,695	3,464	苫田ダム建設により水没する地域の振興事業
	藤井 晋一		32.8%	13.8%	
(株)岡山コンベンションセンター	代表取締役社長	99,000	50,000	0	岡山コンベンションセンター, ママカリパーキングの運営管理
	小野 典生		50.5%	0.0%	
岡山市市場冷蔵(株)	代表取締役	15,000	5,000	0	岡山市中央卸売市場における冷蔵倉庫業
	山田 知治		33.3%	0%	
岡山港埠頭開発(株)	代表取締役	22,000	7,000	0	岡山港の港湾施設の指定管理(上屋施設の管理・港湾施設の使用許可)等
	阿部 崇		31.8%	0%	
岡山市土地開発公社	理事長	20,000	20,000	0	公共用地・公用地の先行取得, 管理, 処分
	中原 健一		100.0%	0.0%	
岡山都市開発(株)	代表取締役	2,950,000	1,540,000	0	リットシティビル駐車場等の管理及び運営
	林 恭生		52.2%	0%	
(一財)岡山市スポーツ協会	会長	62,407	30,000	54,463	生涯スポーツの普及振興及び市民の健康・体力づくりの推進等
	原 憲一		48.1%	88.5%	
(一社)岡山市老人クラブ連合会	会長	20,790	10,000	7,276	老人クラブの育成指導及び連絡調整
	高橋 三穂		48.1%	72.2%	

（2）市から継続的に人的又は財政的な関与を受け、かつ、市の政策・施策の遂行と密接な関係を有する法人

(公社)おかやま観光コンベンション協会	会長	0	0	348,183	コンベンション・観光客の誘致活動, 岡山城・足守プラザ等の管理運営
	石井 清裕		0.0%	49.2%	
(社福)岡山市社会福祉協議会	会長	44,488	0	613,911	社会福祉関連事業の推進, 社会福祉関連施設の管理運営
	内田 通子		0.0%	72.4%	

(注1)「基本財産・出資合計」,「市の出資・出捐」,「市からの財政支出」は令和6年度決算ベースの金額

(注2)「市からの財政支出」は出資金及び出捐金を除く, 委託料, 指定管理料, 補助金, 負担金, 交付金などの市の支出金

(注3)「市からの財政支出」の割合は, 経常収益の合計における財政支出額の割合

2 経営状況

団体名	指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		決算(千円)	決算(千円)	決算(千円)	概況
(一財)岡山市勤労者サポートプラザ	当期収支	▲ 3,260	▲ 3,224	▲ 3,312	市内中小企業を対象に会費収入で事業を行っているが、令和5年度、6年度は会員数が当初見込みに至らなかったため決算で赤字が生じた。今後は、営業活動の強化により、会員数の維持・拡大を図り、収支均衡の安定経営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	92.13%	92.34%	91.80%	
(公財)岡山市公園協会	当期収支	2,379	497	▲8,561	施設利用収入をはじめとした収益は、当初目標を上回る状況で推移したものの、電気・ガス・水道料金等の光熱水費や労務単価アップに伴う人件費・委託費等のアップもあり、赤字決算となる。令和7年度も厳しい経営環境下での経営となるが、引き続き効率的な運営に努め、赤字幅の縮減に努める。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	69.74%	75.43%	69.79%	
(公財)岡山市シルバー人材センター	当期収支	53,626	2,472	▲ 40,322	当期収支がマイナスとなっているのは、職員の採用等に伴う給料等の増加、委託費並びに支払配分金の増加、物価高騰に伴う支払材料費等の増加、インボイス制度に伴うセンターの消費税負担額の増加等の影響が重なり、昨年度を大きく下回ったもの。ただし、減少し続けた会員数がわずかに増加に転じたことから、今後も会員の増加と就業促進等に努め、経営の安定化を図っていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	77.82%	77.42%	77.31%	
(公財)岡山文化芸術創造	当期収支	▲ 9,058	11,834	1,025	岡山芸術創造劇場が開館(令和5年9月)から2年目となり開館事業収入は皆減、入場料収益や事業受託収益は前年度に比べ減少したものの、プレイガイド収益や特別協賛金は続伸しており、黒字経営を継続できた。今後も引き続き経営状況の効率化、安定化に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	78.71%	68.58%	74.33%	
(一財)岡山市水産協会	当期収支	▲ 55	30	▲ 610	国債の減価償却等により基本財産は減少しているが経営は安定している。今後も効率的な運営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	99.95%	99.95%	99.92%	
(公財)岡山市ふれあい公社	当期収支	4,414	▲ 54,528	11,520	介護保険事業において、サービス提供数の増加や特定事業所加算の取得などにより、介護報酬収益が増加。また、講座の受講者数が増え、自主事業収益も増加し、当期収支はプラスとなった。今後も継続して安定的な運営に努める。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	41.21%	37.80%	34.36%	
(公財)岡山県下水道公社	当期収支	80	▲77	133	県から事業委託を受け安定した経営が行われており、今後も効率的な施設管理や団体運営が求められる。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	51.41%	44.18%	41.32%	
(一財)吉井川水源地域対策基金	当期収支	▲ 5,151	▲ 4,770	▲ 6,295	当期収支がマイナスとなっているが、公益目的支出計画に従い、鏡野町へ交付する水源地域振興事業補助金へ充当するため計画的に基金を取り崩していることが要因であり、経営状況は安定している。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	100.00%	100.00%	100.00%	
(株)岡山コンベンションセンター	当期収支	▲ 2,719	49,571	▲15,414	令和6年度は、特定天井の大規模改修工事による4か月間のマカリフォーラム休館に加え、コロナ禍後、ハイブリッドでの開催が依然として残っている状況下において、室料等の売上高は前年度に比べ約25%の減少、駐車場売上を含めた経常収入は約17%の減少となった。休館により利用をお断りした利用者へのフォロー等や、利用者目線に立った運営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	90.65%	89.44%	89.78%	
岡山市場冷蔵(株)	当期収支	▲ 2,957	4,279	▲ 45,845	経費の節減に努め経常利益は増となったが、預託物凍結事故の影響により当期収支はマイナスとなった。今後は信頼の回復を図るとともに、設備改善、庫腹の効率化の達成、従業員報酬の改善などにより安定した経営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	▲ 17,893	
	自己資本比率	69.78%	64.33%	30.81%	

団 体 名	指 標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		決算(千円)	決算(千円)	決算(千円)	概況
岡山都市整備(株) ※注2	当期収支	▲ 68,453			令和4年度には清算に係る事務を行い、令和5年3月24日に清算が終了した。
	累積欠損金額	0			
	自己資本比率	98.93%			
岡山港埠頭開発(株)	当期収支	15,672	13,130	15,370	効率的な施設管理ができており、経営状況は安定しているが、今後も引き続き、効率的な経営が求められる。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	75.29%	76.50%	76.05%	
岡山市土地開発公社	当期収支	▲ 779	▲ 2,953	▲ 1,869	平成18年度から平成22年度まで実施した「岡山市土地開発公社の経営の健全化に関する計画」における目標は、平成21年度に達成し、その後も総務省が定める「簿価総額を、設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値」の基準を満たしており、経営の健全化を図っている。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	19.25%	19.15%	19.16%	
岡山都市開発(株)	当期収支	4,721	6,032	5,300	駐車場の運営は昨年と比較し、一般駐車場の売上は増加したものの、サービス券販売枚数の減等を理由に総売上は減少した。新型コロナウイルスの影響を受ける以前(2019年度)と比べ、売上高はほぼ同水準まで回復しているが、今後も引き続き立地の優位性を活かして駐車場利用者の確保に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	99.18%	99.24%	99.30%	
(一財)岡山市スポーツ協会	当期収支	952	319	1,974	令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響を受けたが、民間助成金等の活用を積極的に行った。令和7年度もより効率的な団体運営を行い、岡山市におけるスポーツの普及振興に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	87.51%	95.56%	97.40%	
(一社)岡山市老人クラブ連合会	当期収支	414	▲ 167	▲ 282	クラブ数・会員数の減少により、収入が減少し、赤字が生じた。今後は健全な運営を図っていく必要がある。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	83.17%	80.06%	83.70%	
(公社)おかやま観光コンベンション協会	当期収支	▲ 570	13,542	3,529	経営状況は安定して推移しており、当期決算でも黒字を継続。引き続き、自主事業の効率化などにより経営の安定化を図るとともにコンベンション誘致の強化、他団体との連携等を進め、より効果的な公益目的事業に取り組む。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	46.10%	49.58%	50.34%	
(社福)岡山市社会福祉協議会	当期収支	8,691	▲ 17,168	▲ 12,203	令和6年度は基金を活用した助成金の支出と給与改定等による人件費の増大がマイナス要因となっている。基金の活用については、寄附者の意向に沿った活用が求められるものであるが、人件費については見直しを図るなど収支のバランスがとれるように努める。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	68.72%	66.98%	66.47%	

(注1) 財団・社団法人の当期収支については、正味財産増減計算書の当期一般正味財産増減額の数値

(注2) 岡山都市整備(株)は、令和4年3月28日に解散し、令和5年3月24日に清算終了